

中国国家重点保護野生動物 ゴールデンターキンが来園します

よこはま動物園ズーラシアでは、12月6日(火)に和歌山県のアドベンチャーワールドからゴールデンターキンのロウ(オス・1歳)が来園します。ロウは、当園で飼育するヒナタ(メス・4歳)のペアリング相手として繁殖契約(※1)に基づき来園します。

中国ではジャイアントパンダなどと並び、特に保護が必要な希少動物として、中国国家重点保護野生動物に指定され、また、中国三大珍獣の1つと呼ばれることもあります。今回の移動により新たな繁殖ペアを形成し、生息域外保全(※2)に貢献していくことが期待されます。



【来園予定のロウ 写真提供：アドベンチャーワールド】

※1 繁殖契約とは

ブリーディングローンともいい、繁殖を目的とした動物の貸借契約のことで、動物園間で個体を移動させることによって新たなペアの形成を促し、繁殖に寄与することを目的としています。

※2 生息域外保全とは

本来の生息域内での存続が困難に追い込まれた種を、動物園など自然の生息地の外において、保護増殖を図り、絶滅を回避することを目的としています。

※当日の取材については、ご遠慮ください。動画・写真については取材用に提供します

一般公開については、決定次第、記者発表し、よこはま動物園ホームページでお知らせします。

1 来園するロウについて

- (1) 愛称：ロウ（オス）
- (2) 生年月日：2015年3月14日（1歳）

2 よこはま動物園の飼育状況（年齢は平成28年11月1日現在）

愛称	性別	年齢	特記事項（血縁、繁殖歴など）
キンタツ	オス	13歳	ヒナタの父親
ヒナタ	メス	4歳	当園繁殖個体

3 ゴールデンターキンについて

英名	Shaanxi Takin (Golden Takin)
学名	<i>Budorcas taxicolor bedfordi</i>
分類	鯨偶蹄目ウシ科
分布	中国陝西省南部の秦嶺山脈・甘肅省の東南部
生態	標高1,300mから2,800m程度の急峻な山岳地帯に棲み、季節により標高を変え移動している。森林の中で木の葉やタケノコ、草本などを含む160種以上の植物を採食する。群れは平均10頭程度の家族単位で、1頭の成オスが複数のメスや仔を率い、外敵等から群れを守る。体には特定の分泌線はないが、臭いの強い油状の物質を分泌してにおい付けをする。またこの分泌物は体が雨や霧で濡れるのを防ぐ役割も持つとされる。 4つあるターキンの亜種の1つで、成獣オスは金白色の体毛になるため、ゴールデンターキンの名を持つと言われている。
ワシントン条約 (CITES)	附属書Ⅱ 現在は必ずしも絶滅のおそれはないが、取引を規制しなければ絶滅のおそれのあるもの
国際自然保護連合 (IUCN) レッドリスト	絶滅危惧Ⅱ類 (VU) 絶滅の危険が増大している種
国内飼育園館	3施設 13頭（オス6頭、メス7頭） 平成28年11月1日現在

■よこはま動物園ズーラシアについて

- ◆入園料：大人800円、中人・高校生300円、小・中学生200円、小学生未満無料
毎週土曜日は高校生以下無料（要学生証等）
よこはま動物園・金沢動物園共通年間パスポート（18歳以上）2,000円
- ◆開園時間：9:30～16:30（入園は16:00まで）
- ◆休園日：毎週火曜日（祝日の場合は開園し、翌日休園）、12/29～1/1
- ◆交通：相鉄線「鶴ヶ峰」「三ツ境」駅、JR 横浜線・市営地下鉄「中山」駅から「よこはま動物園」行きバスで約15分、「横浜」駅から「よこはま動物園」行きバスで約1時間
- ◆URL：<http://www.hama-midorinokyokai.or.jp/zoo/zoorasia/>
- ◆住所：横浜市旭区上白根町1175-1
- ◆問合せ先：045-959-1000